

- ◆ SIP「レジリエントな防災・減災機能の強化」では、地方自治体の災害対応を支える新しい技術を開発し、実装を支援しています。
- ◆ 今回ご紹介した「津波遡上予測システム」は、国立研究開発法人 防災科学技術研究所が、「個別避難訓練アプリ「逃げトレ」」については、国立大学法人 京都大学が中心となって研究・開発をしております。
- ◆ 津波遡上予測システム及び個別避難訓練アプリ「逃げトレ」の詳細のご説明や導入に関するご相談は、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

◆ お問い合わせ先 ◆

津波遡上予測システム

国立研究開発法人 防災科学技術研究所
レジリエント防災・減災研究推進センター 青井、鈴木
Tel : 029-851-1611

個別避難訓練アプリ「逃げトレ」

国立大学法人 京都大学
防災研究所巨大災害研究センター 矢守、李
Tel : 0774-38-4273

◆ SIP「レジリエントな防災・減災機能の強化」紹介 HP ◆

<http://www.jst.go.jp/sip/k08.html>

津波遡上即時予測システム

高精度
10mメッシュ

津波の脅威から人命を守る
陸域の津波浸水予測を初めて実現



津波遡上即時予測システムとは

S-net*（日本海溝海底地震津波観測網）からの水圧等のデータを活用

（※千葉県～北海道太平洋沿岸に適用
広域多点（150観測所）リアルタイム
海底ケーブル式地震津波観測網）

津波の発生を即座に検知し、数分以内に
陸地における10mメッシュでの津波の浸
水範囲や浸水の深さを予測

出典：岩手県 山田町

津波検知後 数分、高精度（10mメッシュ）な
陸上への浸水予測の提供により

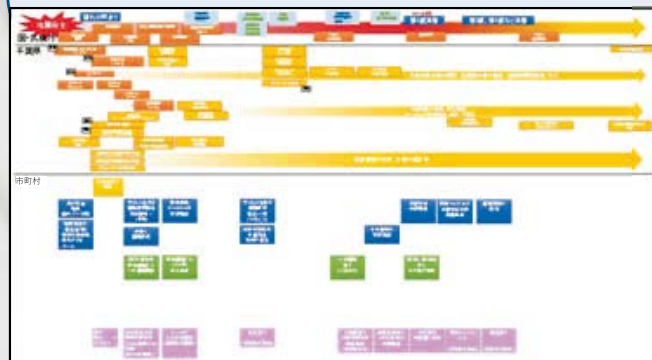
安全な住民避難・迅速な救援活動に貢献します

一人でも多くの命を救うために

高精度な津波浸水予測から 津波避難訓練まで

◆千葉県における津波遡上即時予測の実証実験

- ◆ S-netによる観測データを用いた津波遡上即時予測システムを構築
- ◆ リアルタイムな観測情報を活用した市町村ごとの災害対応手順の構築



津波災害対応タイムライン



千葉県庁に設置の津波遡上即時予測システム

◆鴨川市を対象とした津波災害対応訓練

訓練では津波浸水予測情報を

- ◆ 予想浸水状況の把握
- ◆ 消防団の活動の安全確保
- ◆ 関係機関への報告、支援要請

等に活用



千葉県庁での訓練の様子

◆「逃げトレ」アプリによる津波避難訓練

個別避難訓練アプリ「逃げトレ」とは？

「個別訓練アプリ 逃げトレ」は、一人ひとり個別に(または、家族単位で)行う津波避難訓練「個別訓練タイムトライアル」をスマートフォンのアプリに展開したものです。スマホさえ持っていれば、「いつでも、だれとでも、思い立ったらその場で気軽に」津波避難訓練が可能になります。



◆市町村への生活範囲規模での詳細な津波浸水予測の配信により、住民等の主体的かつ適切な避難を支援

